

# 令和4年度 伊勢市防災会議

---

令和5年3月28日  
伊勢市防災センター



## 1 開 会

## 2 議事事項 議案第 1 号 伊勢市地域防災計画の修正について

## 3 報告事項

(1) 伊勢市の主な事業概要について

(2) 令和 4 年度 図上訓練の結果概要について

(3) 各団体の日頃の防災活動と今後の防災活動について

議案

第1号

# 伊勢市地域防災計画の修正について

【資料1】  
新旧対照表



年度	主な改訂内容
平成18年度	旧4市町村の地域防災計画をベースに新市の計画を作成
平成21年度	水防法の改正に伴い修正
平成23年度	災害対策本部設置基準の改正・業務担当課を記載
平成24年度	避難所指定基準の作成に伴う修正
平成25年度	災害対策基本法の改正に伴う修正
平成26年度	災害対策基本法の改正に伴う修正 伊勢市南海トラフ地震防災対策推進計画の作成
平成27年度	東日本大震災の教訓を基に大規模改訂
平成28年度	洪水浸水想定区域図【宮川】の公表に伴う避難所見直し及び熊本地震の教訓を基に改定
平成29年度	台風第21号の教訓を基に改定
令和2年度	洪水浸水想定区域図【県管理河川】及び高潮浸水想定区域図の公表、土砂災害警戒区域の指定に伴う避難所見直し 避難勧告等に関するガイドライン(内閣府)の更新に伴う修正
令和3年度	避難情報の変更に伴う修正 高潮浸水想定に対応した避難所見直し
令和4年度	南海トラフ地震臨時情報に対応するための修正 他



- 南海トラフ地震臨時情報に対応するための修正
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 二見浦小学校・二見中学校を避難所に指定することに伴う修正
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- その他 軽微な修正

## 南海トラフ地震臨時情報に対応するための修正

### (1) 南海トラフ地震防災対策推進計画

南海トラフ地震臨時情報（調査中）（巨大地震注意）（巨大地震警戒）が出た場合の伊勢市の体制について加筆修正します。

### (2) 地域防災計画資料編

南海トラフ地震臨時情報が出た場合の災害対策本部の配備基準について以下のとおり追記します。

#### 第1配備（準備体制）

- 5 南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表されたとき。  
（災害対策本部は設置しません。）
- 6 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたとき。

#### 第2配備（警戒態勢）

- 4 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたとき。

## ●二見浦小学校・二見中学校を避難所に指定

### 【二見浦小学校・二見中学校】

二見浦小学校・二見中学校が二見町光の街に開校されるため、令和5年度より避難所に指定します。



二見浦小学校・二見中学校

## 報告事項

# (1)伊勢市の主な事業概要について



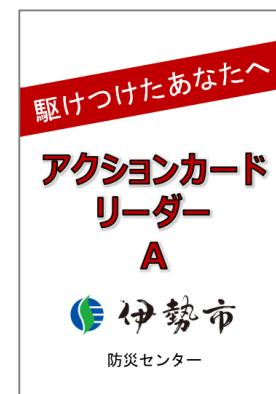


# 居住地区別参集を前提とした 執務室設営訓練の実施

勤務時間外に南海トラフ地震が発生した場合を想定し、**居住地区から近い参集場所**（令和4年度においては、本庁、二見総合支所と御園総合支所で実施）において執務室設営訓練を実施しました。

各施設の建物やライフラインの安全確認、参集後の災害対応執務体制の確立までの手順を確認し、それぞれの課題を抽出しました。

災害時初動対応  
アクションカード  
(マニュアル)



## 伊勢市防災大学の実施

日時	講座内容	場所
○第1回 7月31日(日) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開校式</li> <li>・防災基礎講座 (三重大学 川口 淳 准教授) 巨大災害から地域と生活を守るための基礎知識と心構えについて学びます。</li> </ul>	防災センター 4階 多目的ホール
○第2回 8月28日(日) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所のペット対応について (熊本市 竜之介動物病院 徳田 竜之介 院長) 実際に熊本地震を体験され、ご本人の体験談や、避難ペットの対応についてお話しいただきます。</li> </ul>	防災センター 4階 多目的ホール
○第3回 10月23日(日) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロスロードゲーム (伊勢市防災コーディネーター) クロスロードゲームを体験し、立場による考え方の違いや行動の違い、価値観を学びます。</li> </ul>	防災センター 4階 多目的 ホール
○第4回 11月27日(日) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災食クッキング (だんだんキッチン 大須賀 由美子 氏) 身近な食料や道具を使って、災害時にもできる調理の実習をします。</li> </ul>	防災センター 4階 多目的ホール
○第5回 1月29日(日) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難の実態と課題 (香川大学 講師 竹之内 健介 准教授) 避難のために何が大切なのか、それぞれにあった避難行動のあり方等を学びます。</li> </ul>	防災センター 4階 多目的 ホール
○第6回 2月26日(日) 10:00～12:00 ※自衛隊業務の都合により日程変更がある場合あり。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害派遣活動の体験談 (陸上自衛隊 久居駐屯地) 自衛隊の災害派遣活動の体験談を聞いて、今後の大規模災害を考えるきっかけづくりとします。</li> </ul>	防災センター 4階 多目的 ホール
○第7回 3月19日(日) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだこと発表会 受講者のみなさんが学んだことや、今後に向けての抱負等を発表します。</li> <li>・修了式</li> </ul>	防災センター 4階 多目的ホール



# 危機管理型水位計で水害に備える

## 「汁谷川みんなで地域観測プロジェクト」

### 目的

身近な地域の観測を地域防災へ活用する方法をみなさんと話し合います。そのために、水位計や地域で気をつけるべき雨のを知るとともに、地域との関係もよく知ることが大切です。水位や地域の様子をみんなで確め、地域でどう行動するか、一緒に考えていきましょう。

### 主な関係者

- ①香川大学(竹之内准教授)
- ②三重河川国道事務所調査課
- ③伊勢市監理課・基盤整備課・危機管理課



令和3年度河川砂防技術研究開発公募 河川技術部門河川技術・流域管理分野 提案型課題:地域課題(ローカル観測の地域防災への浸透過程に関する分析)の下で実施します。

みなさん自身で活用し、備えることが大切です

## 地域で設定した目標達成のための タイムライン作成とタウンウォッチングを実施

【記入用紙①】 掛橋自治会タイムライン(集約版)

取り組み目標	(誰が)何をするか	課題だと 思うこと
<b>A:日常</b>		
情報収集方法の把握と地域内での伝達体制を確認し、スムーズな災害対応につなげる	A1□(自治会長)が地域内の連絡体制の確認する	
	A2□(自治会長)が地域内の情報手段を確認する	
	A3□(自治会長)が情報の入手方法を確認する	
	A4□(自治会長)が連絡網を整備する	
	A5□(自治会長)が車の避難方法について検討する	
	A6□(自治会長)情報の入手方法を周知する	
	A7□(自治会長)が役割を確認する	
<b>B:汁谷川の水位が上がりに始める前</b>		
周囲の状況を確認し地域で共有・車の避難場所確保する	B1□(自治会長)が周囲の状況を確認する	
	B2□(自治会長)が周囲の状況を地域全体で共有する	
	B3□(自治会長)がサイレンや放送で避難を呼びかける	
	B4□(自治会長)が車の移動場所を確保する	
	B5□(自治会長)が車の移動場所を開放する	
	B6□(自治会長)が車の誘導・整理をする	
	B7□(自治会長)が川の水位を確認する	
	B8□(浸水地域の住民が自主避難した場合には区長・組長へ連絡する	
	B9□(自治会役員)がSNSを使って地域内で情報を共有する	
<b>C:汁谷川の水位が上がってきた(高齢者等避難)</b>		
周囲の状況確認と共有・車の避難誘導し、早めの避難につなげる	C1□(自治会長)が車の移動場所を確保する	
	C2□(浸水地域の住民)が車の避難をする	
	C3□(自治会役員)が車の誘導・整理をする	
	C4□(自治会長)がサイレンや放送で避難を呼びかける	
	C5□(自治会役員)がSNSを使って地域内で情報を共有する	
	C6□(自治会長)が地域の状況を確認する	
	C7□(自治会長)が川の水位を確認する	
	C8□(浸水地域の住民が自主避難した場合には区長・組長へ連絡する	
	C9□(自治会長)が要支援者宅を訪問・電話で避難を呼びかける	
	C10□(自治会長)が要支援者を車などで避難所へ避難させる	
<b>D:汁谷川の水が堤防を越えそう(避難指示)</b>		
地域全体で避難を呼びかけ、逃げ遅れを地域から出さない。	D1□(民生委員)が電話・訪問で避難を呼びかける	
	D2□(自治会長)が避難が可能を確認する	
	D3□(自治会役員)がSNSを使って地域内で情報を共有する	
	D4□(自治会長)が川の水位を確認する	
<b>E:汁谷川の水が堤防を越えた(緊急安全確保)</b>		
全員安全を確保し、犠牲者を地域から出さない。	E1□(自治会長)が安全確保を呼びかける	
	E2□(一般住民)が安全を確保する	
	E3□(自治会長)が川の水位を確認する	
<b>F:宮川の水があふれそう(避難指示)</b>		
地域全体で安否を確認する	F1□(自治会役員)が地域全体で安否確認をする	
	F2□(自治会長)が地域内の情報収集する	
	F3□(自治会長)放送・電話で避難を呼びかける	
<b>G:宮川の水がやてきそう</b>		
地域全体で安否確認する	G1□(自治会役員)が地域全体で安否確認をする	
	G2□(自治会長)が地域内の情報収集する	
	G3□(自治会長)が安全確保を呼びかける	

地域で決めた目標に向け、対応策をワークショップで検討。  
実際に地域を歩くタウンウォッチングを実施し、タイムラインの作成、今後の取り組みなど決定した。



## 報告事項

### (2) 令和4年度 図上訓練の結果概要について



# 関係機関と連携した図上訓練の実施

市と協定を締結している団体・組織等、関係機関と連携し、令和5年2月1日に図上訓練を実施しました。



## 訓練の目的

- ① 目標管理型の災害対応の習熟
- ② 受援計画に基づく業務・手続きの課題抽出
- ③ 関係機関との連携に関する課題抽出
- ④ 能動的な広報に関する課題抽出

## 参加団体（18団体、30名参加）

三重県（現地参加）

伊勢保健所（電話にて参加）

伊勢警察署（現地参加）

三重河川国道事務所（現地参加）

陸上自衛隊第33普通科連隊（現地参加）

鳥羽海上保安部（現地参加）

愛媛県西条市（協定市：電話にて参加）

岐阜県中津川市（協定市：電話にて参加）

石川県加賀市（協定市：電話にて参加）

長野県飯田市（協定市：現地参加）

静岡県袋井市（協定市：現地参加）



伊勢市社会福祉協議会（現地参加）

中部電力パワーグリッド株式会社（現地参加）

三重県トラック協会南勢支部（現地参加）

佐川急便株式会社（現地参加）

株式会社中日新聞社（現地参加）

株式会社毎日新聞社（現地参加）

株式会社ZTV（現地参加）

## 訓練概要

- ①宮川左岸（玉城町昼田地内）破堤1日経過後の状況を想定し、その対応を検討し、実施した。
- ②その後、模擬記者会見を行った。
- ③訓練終了後にはふりかえりを行い、抽出した課題を整理した。

## 報告事項

### (3) 各団体の日頃の防災活動と今後の防災活動について



防災会議の構成団体から、日ごろの防災活動と今後の防災活動について、発表いただきたいと思います。